

悪原 至 レクチャーコンサート

ヤニス・クセナキスと打楽器

出演
悪原 至 打楽器ソロ・レクチャー

ゲスト
酒井弦太郎 オーボエ
新野将之 打楽器
曲淵俊介 打楽器

プログラム

ヤニス・クセナキス Iannis Xenakis (1922-2001)

ルボン Rebonds

オコ Okho

ドマーテン Dmaathen

プサツファ Psappa

2026年7月2日(木) 19:00 開演 [18:30 開場]

ボッシュホール(都筑区民文化センター)

・横浜市営地下鉄「センター北駅」より徒歩約5分

[全席自由] 一般: 3,000円 / 学生: 2,000円



チケットはQRコードより
ご予約いただけます。

【後援】 **CANOPUS** 【助成】 **NOMURA** 野村財団 【協力】

LES AMIS
DE
XENAKIS

世紀を代表する作曲家ヤニス・クセナキスは、数学と建築の思考をもって音楽を構築した。その創作の出発点は、五線譜にとどまらない手書きのスケッチにある。

本公演では、その貴重なスケッチを実際に投影しながら、代表作《Rebonds》をはじめとする打楽器作品の核心に迫る。

クセナキス研究により博士号を取得した悪原至が、研究と実演の両面からその思考を解き明かす。

BIOGRAPHY



悪原 至 Itaru Akuhara

国立音楽大学卒業時に矢田部賞を受賞し、同大学院修士課程修了時には最優秀賞を受賞。ヤニス・クセナキスの打楽器作品に関する研究により、同大学大学院より博士号（音楽）を取得。

オーケストラや吹奏楽にとどまらない打楽器の魅力を引き出すべく、打楽器ソロやアンサンブル、現代音楽などのジャンルでの演奏も積極的に行っている。2021年には東京オペラシティ主催のリサイタル・シリーズ「B→C（バッハからコンテンポラリーへ）」に、2022年にはNHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演するなど、次世代を担うマルチ・パーカッショニストとして注目を集めている。ソロ作品を集めたCDも2作リリースしており、日経新聞や読売新聞で紹介されたほか、レコード芸術の特選盤にも選ばれた。その演奏における残響への鋭い感性や、緻密にコントロールされるリズムや音色の綾から生み出される

鮮明度の高い音像、透徹した視点から作品の深部に分け入るような表現には定評があり、様々な音楽シーンで活躍している。

第23回日本クラシック音楽コンクール第一位、第16回KOBEL国際音楽コンクール最優秀賞を含め、国内4つのコンクールで第1位を受賞。第11回チェジュ国際金管打楽器コンクールファイナリスト。

洗足学園音楽大学、国立音楽大学附属中学・高等学校非常勤講師。CANOPUS エンドーサー。「上野信一&フォニックス・レフレクション」、「Vivid Brass Tokyo」メンバー。

ゲスト



酒井弦太郎 Gentaroh Sakai

現代の音楽における解釈や奏法の研究を重ね、これまで新作を含む20世紀以降の作品の初演・再演に多く携わる。山下現代音楽賞 現代音楽演奏コンクール“競奏 XVI”入選（オーボエ初）。同声会賞・アカンサス音楽賞を得て東京藝術大学卒業後、同大学院音楽研究科修了、現在フリー奏者として活動中。現代音楽室内アンサンブル「プラットフォーム」、西欧の古楽器と日本の伝統楽器による世界初の団体「アンサンブル室町」各メンバー。



新野将之 Masayuki Nino

マルチパーカッショニスト。国立音楽大学打楽器科を首席で卒業。イタリア国際打楽器コンクール1位をはじめ、受賞歴多数。ソロ、オーケストラ、吹奏楽、室内楽、劇伴、ミュージカルなど幅広いフィールドで活動しており、近年では東京オペラシティ主催リサイタルシリーズ「B→C」やNHK ラジオ番組「リサイタル・パッシオ」に出演。YAMAHA から「10分で上達！パーカッション」を出版。

©FUKAYA/aura Y2



曲淵俊介 Shunsuke Magaribuchi

国立音楽大学卒業。卒業後はソリストとして吹奏楽団との共演、テレビ番組でのバンドサポート、コルグのシンセサイザー「Nautilus」のサンプリング、レコーディングの参加等、ソロ、アンサンブル、吹奏楽、オーケストラ、ポピュラー音楽、現代音楽、古楽即興など幅広い演奏活動を行っている。「東京室内管弦楽団」「上野信一&フォニックス・レフレクション」「岡田知之パーカッションアンサンブル」メンバー。甲斐清和高校音楽科打楽器専攻非常勤講師。

©Ayane Shindo



チケットはQRコードよりご予約いただけます。

メールでチケットをお求めの際には、本文に「お名前」「ご住所」「電話番号」「チケットの種類と枚数」を明記のうえ、下記のメールアドレスに演奏会前日までにお申し込みください。

E-mail a.itaru.recital@gmail.com